

可改く一節ニ刑ヲ成スナカレ
アヤマリテ刑罰モ恩賞モ行スゴ
セバ水清シテ魚不生ノ理可在ナ
リ尤依怙ヲスルニテハナキナリ
一可工夫事々大ニ
一可粧威儀之事

是ハ上下ニ威儀行列ト云テ表
ニ勇ヲヨソテト下ニ臆ヲ陰スソ
ノ勇ヲ引ス間敷クトカリ勇ナル
心バハ詞ヲ不引セソダテ用ル

一剛敵可心得之事
言ハ万敵之卒剛強ニシテ矢玉
多蓄ヘ向フ場一不得己ナルハ
可左分別事ナリ如此場ニテ人数
多不損工夫第一最カヤウノ場
所ハ不掛ガヨケレハ晴ナル
力又ハ引ケバ付カケラルノ数

一人心ハ頭勇密臆立切陰退ノ
類世ノ輩ナリ是ヲ不引勇ヲアラ
ハサスルハ
一剛敵可心得之事
言ハ万敵之卒剛強ニシテ矢玉
多蓄ヘ向フ場一不得己ナルハ
可左分別事ナリ如此場ニテ人数
多不損工夫第一最カヤウノ場
所ハ不掛ガヨケレハ晴ナル
力又ハ引ケバ付カケラルノ数

ニ于難義可有事之故ニトクト目
利ノ可入ハケ様ノ場所ノ最輕
ト引アケル事人数ノ立ヤウナリ
奥ノ角條ニ詳ク
一大組合之事
言ハ一組二組一ツと組合ル事
最組頭小頭ヲ付合スレ人数多
ヲ頼ミ持エルグ者ク依之クツレ
易シ正陣ヲ用合セ奇兵ヲ以勝ク
力ヤウソ時ハ謀策多キ時ヲ嫌フ

一大組ユヘ致スル一ナシ又一ツヲ
ニツ三ツニ分ル吉最正寄下知ア
ル事傳タリ
一可敬随事
言ハ心ノ随備ノ随一アリ假令顯
ノ身ニ如添忘変事ナリ或寒暑ヲ
サグレバ同クイトニ杯スルノ類
ハ是心ノ随フ又歌魚鱗ナレバ
味方モ魚鱗鶴翼ナレバ此方モ雀
翼ノ備ニ随フヲ云ナリ是等ハ皆

強ニ在ルト最功者ノ入ルト分
合ノ利ヲ可校ト云フ
一可合敵事
言ハ合口ト云モノ了リ是ハ敵ノ
足輕幾備呆方ハ何程ナルニ依テ
於此所一戦ノ時ハ如此配リ何ノ
所ニテハ如此可下知不罔夜付ア
ラバ如此スベシト云テ用ルナ
リ此合口ヲ觀察スルヲ云ク
一動揺可心得之事

言ハ敵一向陰沈トメ武者色沈ム
勇兵ト見テカユルモノナリ此方
卒動揺震雷而様子ヲシルナリ
是ヲ一舉動揺ト云
一備可有損益事
言ハ卒ヲ並備ヲクニ損益ノニア
リ損ハ卒ト損シ矢玉ヲ損シ備ヲ
損シ虽得勝利此損ニ可心付ナ
リ先卒ト損ズ間布ハ敵ノ險難ニ
守ル場ヲムサト進間布事又矢玉

損ズマヅキハ遠方ノ敵ニ夫玉ヲ
ムサト不故事ナリ備者兼テ不可
知事ヲ卒ヲ組合備方場積之心得
ハ勝利ヲ得トモ此心得ナキ時ハ
必大ヒナル後ノ負ナリ
一人教盈気之事
言ハ人数ヲ一野ニ集ソ夫ハ心得
ヲ可云聞總シテ人心一致セサル
モノ成ル故剛強柔弱之卒相忘
トクト得心合点サセ一統サスル

事ヲ盈気勇テトダスト云
一衆卒可顧養事
言ハ三畧所謂用ル兵有饋輦醪者
使投諸河與士卒同流而飲夫一輦
之醪不能味一河之水而三軍之士
思フトハ為ノニ致死者以滋味之
及己也卒生トテモ物之頭領タル
仁ハ暫モ思卒不忘ヤウニスルガ
本クマシテ於軍場率ヲ惠ニ愛ス
ルトウリノクハラニナキヤウニ随

分丁寧ニ不便ヲクフヘテ使フ跡
ニ遺ル妻子ノ事追問尋情愛ヲ可
用人ハ貴賤氏死恩云々
一矢玉半復之事
言ハ敵合能コロニシ矢玉ノ小也
リ合ニ敵ニ中ルトナキ時ハ譬ハ
三十人之足輕ナラバ十五人ニセ
リ合サセニ三放モ中ラズハ又十
五人ヲクリ替テ可撃ナリソノ尚
初メ撃シ者トモ一息ツギテ気納

再ヒ放テバ必中リイヅル者一
二人矢玉ノ内ニアタリ不見ヘハ
クリ替リカヘテ一引ヒカスル類
ヲ反復之法ト云々
一兵卒別合之事
是ハ分レ合フ事ナリ此事能可工
夫合口ト云テジリミト卒ヲ連子
矢玉ヲ放サントスル所ヲ不放前
ヨリヒシト敵ニ中ル如ク仕掛ル
事專要ナリ又別ルト云テ人数引

取時が大事ナリ必輕ト引上ゲ
ニクキ者ニ是能心ト場ト敵ト卒
トノ小組合セトニ可在事ニ
一可保進卒事
是ハ敵ノ輕卒矢玉ノ人下ニ暫モ
一不油断若シ遠路暑氣ヲシノギソ
ノ所ニツカバ一息休シテ息ヲ入
其後可撃ニ息不納内テウテバ敵
ニ不中モノニ其外息合能ニ不納
大過不愼ト云事ナリ此ノ外ニモ

一卒可櫛事

矢玉氏ニ大過シテ不蓄事ヲ忌ム
事ナリ進卒ヲ保シズト云ニ
是ハ卒之剛強柔一致ナルヲ櫛ト
云ハ氏歩卒ハ血氣ノ勇計ニ依之
本勇ノ理リハナキト勇ニ大過
ナキヤウ静メ又随分弱リナル者
ヲ進メ勇ナル者ヲ手本ニシテ如
此櫛ト云聞セテ下知一致サスル
ナリ抑揚褒貶擣從興奪之心持少

ア
ル
ベ
キ
事
ナ
リ

一 慈愛専用之事

言ハ組ノ卒ニ軍ニ不限生平モ其
頭ヨリ他組トハ格別ニ親事ヲ内
證ニテ一ツ宛行ヒ可置ナリ最世
ノ聞之夕ノ公ノ聞ノ為ナラス心
実ノ心愛ヲ一ヶ条カニヶ条ツ、
持思付セヨク事是ヲ別ノ慈愛ト
云ニ是ノ術テナクテハ組ノ思付
事ナキモハ之假令思付様ニテモ

一 下心ニ親服セヌモノナリ依之

如
此
ト
云
々

一 功名日可改事

是レニテ高名ヨシト云テヲ云ワ
又者人我力組ハ今少ヨク可働等
之日比別ニ功ヲ習セテナク故
杯ト可云ニ然ルニ今日ノ働十分
ト云へバ必心ユルマリテ不働モ
ノく他ニ合スレバヨケレ氏我組
ハ他ヨリ武勇勝レタレバ是等ヲ

ヨキトハ云ヒカクキ杯ト云ハ
心ニ驕ル事ナキ故働日益スモノ
一損害心得之事
是ハ卒ヲ少ス場ニテ先損害ノ事
能可工夫事ノノ後勝利ノ品ヲ
心ニ付テシルナリ始ヨリ勝利計
工夫スレバ損害ヲ忘ルモノ
孫子曰雜利害云心ノ
一卒成士事

言ハ働ノヨキ卒ヲ士ト成スノ頭
ノ器量ニアリ能勝功衆ニ越スル
事アラバ害ナキ内ニ早夕上へ申
達サテ取立テ士ト可成是賞ハ不
越時得ハ越時心ナリ是ニテ諸卒
ハゲニ有ル
一兵糧一統之事
是ハ卒何レモ兵糧ヲツカヒ或ハ
飲食ヲナスニ過不及ノナキヤウ
ニスベキニ易回飲食必訟アリト

云事ヲ恨ル事アル者ハ戰場ニテ
樂事ハ兵糧飲食ハカリク况ヤ歩
卒杯ナラ以此心得アルベキナ
リ
一清賢心得之事
言ハ主将タルモノ余リ賢清ナレ
バ人不親モノナリ如何ント云
魚不生清水ノ類ニテ依悟スル
テハ十ヶレ尺組ヲアツカウ者ハ
少シ人惡ハ見人ガス心ヲキナリ

アマリニ聖賢ナレバ人不親ニテ
却テ苦ムモノナリト可心得ナ
リ
一川越心得之事
是ハ河ヲ越サレト欲セバ先可渡
先ニ人数ヲ能ク集メテ三人ニテ
モ五人ニテモ一組ニシテ水ヲ得
タル人ト不得人ヲ雜へ組合越ス
最サキハ一組是ヨリ是ニワタリ
付ト云テ越サセ其渡リヲ見テ其

後段ニ越スヘキ人

一可残賞事

言ハ是レ迄ノ取立ト思ヒ其心ヲ

卒ニ不知イマダ段々取立様又ハ

賞同前ニテ是ヨリ多加増ツカワ

ス杯ノ心ヲ随分卒ニ不知ヲク

事ナリ

然ルニ是迄ノ取立ト卒ノ心ニ知

レバ働止ルモノ之是ヲ残賞ト云

ナリ

一勝負八分ノ事

是ハ不勝過古ノ信公ハ八分ノ勝

ヲ上トスト謂リ併場ニヨル位

大方が矢玉に七八分ニ放テ勝ノ

結トノ人数ヲ可上ク如何シトナ

レバ第一クタビレズ又勢モ残り

兵具モ銃リスルイラ勝ラ八九

スト云

一小屋入心得ノ事

是ハ小屋入前ニ一ツ所ニ借場所

一 鹿口要界東西南北悉見合モトシ夜
二 討急ニ敵襲キタル心得ヲスベキ
之ヲノ上ニテ小屋ニ入ルナリ混
亂ノ小屋ニ入休勞事大ニ嫌フナ
リ
一 卒口論之事
是ハ有ルマシキナラ子バ弟一
人数ヲヨク和順サセ可呂連一
人諸人ニシテケマル者アラバ早
組ヲハヅスヘシ最ケ様ノ者ヲ取

立不可為憂大ヒタル害アリ總テ
口論ナドセバ組中ノ許ラ可聞埃
時心得ニ大事ナルナリ多分ニ
順ト云
一 不失勢之事
是ハ人数ヲ同所ニ久敷不可備ソ
口ニト敵ノ方ニ勢ノヌケザルヤ
ウニ寄ルナク最鹿口場仕寄場杯
ニテハナラ以一度ニドカニト寄
ル下悪是勢ハ習ク

一剛柔心得之事

是ハ組卒ヲ一合スルニ銳鈍ヲ分

何レモ能可組合前篇ニ云テ五ノ

ノ組ト云テ月ジ併リノ人数ヲ備

ニテ又分合ノ一理ヲ示ステ分合

一險難心得之事

言ハ若シ行ニ險阻アリテ備ヲ静

ニ立テテ人数ヲ一組ニテ可越

分合モ小組ヲ一ツニテ越サスル

ナリ是最越ス前ニ一息宛休マセ

テ能ク念ヲ入越事ナリ

一動靜可知事

言ハ動事甚キ時ハ息ヲモ不續又

攻ムル杯ハ場ニヨルト云ヘ死後

ノ働ヲ不思勇ヲ不蓄ト云テ嫌フ

トク譬ハ何程ノ大合戦ニモ息ヲ

スル間ノナキ程ニハ敵モ不及モ

ノナリ又卒ヲ遣フニ静中ニ在動

動中ニ在静ト云事在り一片ノ心

心得テ大カルマケアルモノ

一不頼勝利事

是ハ兵ヲ用ルモノハ勝テホコル

事勿レ能其終ラ可慎不愼者不咲

兵之利ニ夕トヘ大敵勇闘ニ勝ツ

氏小弱微敵ヲ不悔ヨクニ愼毎事

初陣之合戦ノ心ニテ可戦物ニヨ

クナレテ易キニハ必過アル者ト

一知敵可知果方莫

可心得ナリ是ヲ謙慎ト云テ人

是ハ譬バ敵ニ使ノヤリ取ラシ又

一類ナトアリテ人ヲシテ文ノ通

一連或縁ニフレテ杯ノ品ガケ様ノ

場ニテアルトク惣テ物主頭ハ力

ルキ頭ニテモソノ品ノ将ナリ敵

味方氏ニ主将ヘハ種々テダテア

リ能心得ヲ密計謀偽ハ在敵テ成

ス事ハ味方ニアリト可心得コト

一可進知時事

ナリ

一 是ハ味方ニ加勢ノ付タル節力又
ハ虎口セリ合ノ時後軍ツギキ夕
ル杯勢ノマス下アウバ其勢ヲ不
挫一進スベシ是ハ最呆方氣ノ後
レタル時力又ハ小後レテモ今一
進ミテ勝利ヲ得ルト云フ時ノ
事ノ
一 君命可重事
言ハ組ヲアツカルモノ第一ナリ
易豫利建君行師ト云如ク君命ヲ

重シ可貴下モ又其頭ノ下知ヲ重
シズルモノハ此事意味又君命モ
不受ト云ハ一生ニ兩度ナラデハ
ナキ事ノ是又凡愚ノシラザル所
ナリ

一 武威不可飾事

是ハ頭將杯ニ可在心得事ナリフ
ト物ヲ飾リヤウタイ在レバ下ニ
迄其形アル物ナリトカク物事不
飾ニ直ナルベキヲ肝要ナリ是又

已ヲ以テ人ヲ達スル理入下
テ武ハ不飾モ人ト常ニ可心得
剛臆ノ勇論ハ格別ナル
一新属之卒心得之事
言ハ将ニ初テナルカ又ハ他ノ組
ヲ新ニアヅカルカ杯ニテ初テ組
ヲアヅカル片仁道慈悲ヲ云
カレ生徳勇将ハ躰ニ思ワセヨ卒
ハ初テノ将ノ気ニ入ベキヲ思
ヒ何レモ剛ニ成モ人ノ後ハ情

ケヲカケ仁道ヲ用ル事ノ初ヨリ
仁道慈悲スグルト卒軽スルモノ
ニ又アマリ勇過テ不服類ハナラ
アシ、生徳ノ勇ト云テ心得
一信誠専用之事
言ハ卒ヲ使フニ信誠ヲ以テスベ
キニ若シ疑心アリ凡内心ニ了簡
之テ假初ニモ卒ヲ疑フ、リヲ不
可見是ヲ信誠第一ノ心得トスル
ナリ

一可知損失事

言ハ、劔術之理、モ股ニ首ヲ替ユ
ルト云、一有場ニ依テ少高下ノ所
ヲ敵ヨリ強取切リ、夕ガル、一在、一
ガイマソノ場ヲ不爭ガ吉最ア、一
ソウフリヲシテ敵ニ取セテ近ク
引寄せ撃杯ノ類、又夫玉ニテ当
リヨキ悪キノ可为工夫事
一、殘卒心得之事、是ヲ退口ノ殿ト云、
言ハ、一人之組討リ、殿リスル、十ア

ラバ、可心得何レモ引心アル故ニ
心浮立矣、玉不中モハ、七カヤ、ウノ
片頭ノ下、咲アル、一、先馬ヨリ下
リテ、床机有、羊ナドニ座ヲ組、此處
ヨリ、敵ヲ呆方ニ付サセテハ、生ガ
イナシ、何レモ心ヲ静メ、折シキテ
敵ヲ引付ケ、可撃ト下知セヨ、落ツ
キ必死ノ心ニテ、必敵ニ夕ワ、又者
く、夕トヒシ、ダヒ来テテ、喰留ル、一
必定く、頭浮、夕テ、バ卒モ、心不静、矢

一 玉モアタラシク又者ト下可咲 不特夫

一 進向心得之事 是ハ屈伸ノ消息ト云心得アリ言

止ルモ又進ム夕ノ退モ進夕ノ是

テ能可心得トシ敵ニテ一度

進来ル人類ナラバ假令止リ退ク

凡心ハ進ム気アルモノノ總而敗

軍ハ格別只退ク敵ヲ進ク慕フ下

可有心得トシ總ジテ一度也来ル

敵ハ心ニ進動アル故假令敗軍ニ

テモ窮寇ヲ不追ト云ヘリ勝ヲ取

リテモ能人数ヲ下トヒ置下肝要

ナリト云

一 觀哨監之事 言ハ觀ハ心ニテ見ル事聞ハ耳ニ

テ聞利非ナリ監ハカシガ工ニル

下ノ此三ツ勝負ニ不限萬物ニ頭

タル者ハ入ル下ナリ可心得下

ト云

一 親ニ附ル專用之事

一言ハ親付サスル種アリ併ナ
ガラ頭威ナクシテハ卒ニ夕トヒ
情愛ヲナシテモ不悦モノナリ以
陽剛居君位譬へハ君無威時ハ恩
賞心惠モカワテ不貴故ニ常ニ嚴
威ニメ其上ニテ惠恩テナセバ貴
ヒ悦ブモノナリ又嚴威ヲナスト
云ムサト物事キビシク行フニテ
更ニナシ在威而不猛之類ヲ可心
得ト云

一必死心得之事
言ハ必死場ニ到ラントセバ必ト
死ヲ卒ニ不為知ニテ可致孫子ガ
本階ノ心得アルベキコトナリ已
ニ必死ニ到テハ能ハタラキモノ
ナリ卒ハ輕キモノ故兼テ必ノ場
ト不聞レバ逝サル者多シト云
必死ノ矢玉又可在品事ナリ心ヲ
静ニソ放撃セヨ必中ルト云
一節可知事

一言ハ寒暑春秋之節ヲ知ルコトモ
云ナリ此外此節之一字高上之辨
アリ勢之本ト云心モ見エタリ兵
役要法ニ於テ詳ニ論スト云
一卒ノ感属ハ有親愛事
言ハ感ト云フモノナクテハ上下
不可为一致是ハ本親惠ノ深キト
コトニアリタトハ君ハ為臣ノ
有感父ハ子ノ女ノ感アリ兄ハ
一弟ハ为感アリ以心ヲ感ト云フ

ナリ其誓モ不忘トコロヲ感ト云
ナリ今世ノ風俗婦妻ニ感アル人
ハ多ク臣子弟ニ感スリナシ子弟
ハ肉列ニ固テ感アルトアレバ婦
妻ノ愛ニウトレリマシテ臣ニ感
アル君少シ此感ヲ能心得誠ヲ以
惠ミ愛スレハ犬馬ニ至ル近親属
不况ヤ於人生ヤ故ニ上ニ君タル
人此感心ヲ誠直メ卒死ヲ同フセ
サレトナシ死ニ同フスル時ハ功



ヲ不成ト云下ナシ
 右九十九ヶ條ハ輕卒ヲ遣フ処ノ
 大意ニシテ足輕大將物頭深ク以
 日新之工夫可為窮理也一組ノ万
 業ハ後卷ニシルス

止戈樞要卷八終

